

会 議 録

平成26年7月7日調製

審議会等名	平成26年度 第1回 社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成26年5月30日（金） 午後2時～4時		
開催場所	三条市中央公民館 音楽視聴覚室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	委員 阿部 凉子委員（議長） 阿久津 文雄委員（副議長） （15人） 高橋 邦彦委員 桑原 理委員 安藤 正之委員 村田 洋子委員 倉品 章委員 諸橋 信子委員 土屋 文舟委員 高橋 清委員 米山 文子委員 弥田 正蔵委員 石原 房子委員 石黒 正晴委員 佐藤 英夫委員		
	職員 長谷川生涯学習課長兼中央公民館長 （10人） 高須図書館長兼歴史民俗産業資料館長 羽賀諸橋轍次記念館長 長橋嵐南公民館長 鈴木本成寺公民館長 渡邊大崎公民館長 高波栄公民館長 大竹下田公民館長 金子生涯学習課課長補佐兼中央公民館館長補佐兼東公民館長 阿部生涯学習推進係長		
議 題	（1）平成26年度生涯学習事業等の概要について		
	（2）社会教育団体等の補助金について		
	（3）社会教育委員・公民館運営審議会委員の研修について		
	（4）その他 ・平成26年度第53回中越地区社会教育研究集会【三条市開催】について		
会議内容	別紙のとおり		

阿久津副議長	<p>本日、阿部涼子会長が若干、遅れてまいりますので、それまで議長代理を務めさせていただきます。</p> <p>これより平成26年度第1回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開催いたします。本日の会議時間は、おおむね1時間半程度を予定しております。「議題（4）平成26年度第53回中越地区社会教育研究集会【三条市開催】について」で若干、時間が必要となります。その関係で、本日、中越教育事務所社会教育課の田辺先生からお越しいただいておりますので議事進行には特段のご理解とご協力をお願いします。</p> <p>それでは、初めに長谷川生涯学習課長から挨拶をお願いします。</p>
長谷川課長	<p><課長挨拶></p>
阿久津副議長	<p>それでは、自己紹介をお願いします。</p> <p>高橋委員さんの方から順次、自己紹介をお願いします。委員の自己紹介が終わりましたら、人事異動等で職員の交代もありましたので、改めて長谷川生涯学習課長さんから順次、自己紹介をお願いします。</p> <p><自己紹介></p>
阿久津副議長	<p>ありがとうございました。それでは、議事に入る前に資料確認を事務局お願いします。</p>
阿部係長	<p><資料確認></p>
阿久津副議長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>「議題（1）平成26年度生涯学習事業等の概要について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>なお、説明が多岐にわたり長時間となりますので、最初は生涯学習課、公民館、子育て支援課、青少年育成センターの説明を受けたあとに質疑応答を行います。</p> <p>その後、図書館、歴史民俗産業資料館、諸橋轍次記念館の説明を受けたのちに質疑に入りたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p><異議なし></p> <p>なお、本日、子育て支援課長、青少年育成センター長は、同時刻で青少年育成センター運営審議会が開催されているため、やむを得ず欠席されています。</p> <p>代って、長谷川生涯学習課長が報告されますので委員の皆様におかれましては承知いただきたいと思ひます。</p> <p>それでは、事務局の説明をお願いします。</p>

長谷川課長	<p>ー以下、「平成26年度 三条市の生涯学習」p. 1～43により説明ー</p> <p>＜生涯学習課事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>基本方針、重点目標（1）①④、重点目標（2）⑤⑥、社会教育委員会議兼公民館運営審議会、生涯学習推進会議、成人式、生涯学習指導者養成講座、子ども読書活動推進事業、しかけ絵本日本一プロジェクト事業、文化芸術振興に関する懇談会、わくわく文化未来塾、若手芸術家支援事業、文化・芸術の一番星育成支援事業、小林ハルさん越後唄女唄講演会、文化財保護審議会、下田郷いしぶみめぐり、ふるさと三条再発見事業</p>
金子課長補佐	<p>＜中央公民館事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>スマートウェルネス、通学合宿、まちなか文化祭等検討会議、「歩きたくなる小路」写真撮影会</p> <p>＜嵐南公民館事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>夏休みクラフト教室、くらしを楽しむ女性講座、和食の基本料理教室、果物のお菓子作り教室</p> <p>＜三条東公民館事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>若者たちのライブ&パフォーマンス、市民総合大学</p> <p>＜井栗公民館事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>親子体験教室、なるほど座</p> <p>＜本成寺公民館事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>お寺の会、あこがれの趣味教室</p> <p>＜大崎公民館事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>どんぐりクラブ、くらしのツボ講座</p> <p>＜大崎公民館保内分館事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>保内地区クラフト展</p> <p>＜大島公民館事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>チャレンジクラブ</p> <p>＜栄公民館事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>親子書初め大会、おとなの学び家、リフレッシュ教室</p> <p>＜下田公民館事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>子ども書初め教室、歴史探訪講座、ものづくり講座</p>

長谷川課長	<p>ー以下、資料No.3～4により説明ー</p> <p><子育て支援課事業、青少年育成センター事業 説明></p>
阿久津副議長	<p>ただいま、平成26年度の事業概要について説明していただきましたが、何かご質問はありませんか。</p>
米山委員	<p>意見です。小学生、主に中学生だと思いますが、ネット関係の問題、スマホを持ったり携帯を持ったりという子が増えているという関係もあり、目に見えないものを使ってのトラブルが増える一方になるのではないかと思います。実際、不登校や引きこもりの生徒さんの原因も、外というよりもネット関係のもので起こってくるという事例も増えていると想像できます。私自身、パソコンのことは子どもに聞いているような状況で、わからないのですが、現実にはやはり対策が必要になってくるのではないかと一人の親として感じています。ネット関係の対策みたいなものがあればいいかなと思います。</p>
長谷川課長	<p>子どもが犠牲となる一例として、幼児ポルノというものに対して、国は刑罰を科しています。子どもたちを守るということで、そういったものについてはしっかり協議をさせていただきたいと思っております。</p>
佐藤委員	<p>生涯学習推進計画について、どういう形で進めていくのか、出来上がったものはいつの時点で開示・提案するのか。</p>
長谷川課長	<p>生涯学習推進計画ですが、今年策定して来年から実行していくという、8年間かけての計画です。こういうことをしていれば、8年後こういった結果がしっかり見通せるというものを作っていきたい。あれもこれもと高い目標を立てていても、現実的には達成できない部分が多い。どれだけ目標に近づいたのだろうかという頑張り度合いがものさしで測れるような形にしていきたいと思います。ただ精神論だけで作って、結局精神論で終わってしまわないようにして参りたいと思います。</p> <p>具体的にはいつごろそういったものを作るかという、今、ワーキング会議を行政の中だけでなく、社会教育委員、生涯学習推進委員、それぞれの代表からボランティアでお入りいただき、一緒になって進めております。私達の上位計画であります三条市の次期総合計画と一緒に方向性を定め、なおかつ、三条市の教育基本方針にも則った中で、三者が一緒になって一つの方向に向かって、策定して参りたいと考えております。11月中旬に市民の皆様に推進計画のパブリックコメントをさせていただきます。12月に実施計画策定に着手、1月に基本構想・基本計画の決定、2月に実施計画完成、3月に議会報告という流れで進んで参りたいと考えております。</p>
村田委員	<p>公民館では様々な講座が行われているわけですが、長期のものはサークル化</p>

	<p>し、その支援をするということですが、一つの講座を継続していくというその時間的な基準や内容があれば教えていただきたい。どのような支援をしているのでしょうか。サークルが継続されていって、非常に良い成果を生んでいるような事例もあるかと思えます。実践的な面での情報がありましたらお聞かせください。</p>
金子補佐	<p>平成25年度までの講座は、平成26年度からすべてサークルに移行しました。支援は、一年間、施設使用料の免除をしております。また、サークルの活動につきましては、お話をいただければ広報さんじょうのミニ情報へ載せるというような対応をさせていただきたいと思えます。</p>
長谷川課長	<p>公民館の各講座は、はじめは市の主催事業だったのですが、長年、同じ方しか来ない。我々にすれば、色々な世代の方から来ていただいて、そうした事業の効果を地域に持ち帰ってもらったり、相互に連結してもらって、一つの効果を生んでもらいたいと思っているわけですが、毎年同じような方がおいでになる。新しい講座を設けていきたいという話は過去何回か公民館の方で審議がなされ、もう今年でやめましょうという事業を、皆さんからの要望でもう一年間減免をするからサークル活動に移行してくださいねということで、現実的にサークル活動に移行されたところもあります。少子高齢化の中で、20年後にはジェネレーションギャップが来る。団塊の世代、20～30年後には団塊ジュニアがいますが、それを過ぎると、人口が大きく減少することもありまして、事業をこれからどうするかということを考えたときに、新たな市民の皆様への講座を提供していかなければいけないという風にも考えておりますので、既存の部分でもできる、自分たちの中で同じような方がお集まりになるようなものについてはサークル化をして、独立をしていただく。我々行政がやることは、今までやってきていない新たな部分で、どういう風にやればいいのかということについてのお力や知識を与えていくような講座を作りたいという主旨でありますので、ご理解いただきたいと思えます。</p>
村田委員	<p>これからは現代的な課題と入門ということで、その道への門を開くというのが大事だと思います。そういうことを大事にしていくという話だと理解しました。今年度は、今の公民館には過去のはみんなサークル化して、新しい講座が取り組まれているということですね。</p>
長谷川課長	<p>継続的にやっていく中で、色々なことを考えながら、方向的にはそういうものを考えていきたい。これから大事なのは地域の絆。2011年に東日本大震災がありましたけれども、地域の皆様との連携・組織作り、そういったものが公民館からひとつの援助といいますか、繋がりが生まれ、地域力が増すということがこれからの我々の目指す方向ではないかという風に考えております。</p>

村田委員	<p>昨年度の終わりの会議で各公民館活動が安易な教養講座的なものに流れていることを警戒するということを市側からもお話がありましたし、委員側からも本当にそうなのかという厳しい視線がやはり大事じゃないかというような話が上がっていたことを記憶しております。ただ今おっしゃられた様なことをぜひご指導いただきたいと思いますと思っております。</p>
諸橋委員	<p>サークル活動での保険はどのようにされているのでしょうか。</p>
金子補佐	<p>公民館総合保障制度の中で、公民館を利用している方に対しての保障がございます。その中で、サークル活動をされている方々も対象としております。</p>
桑原委員	<p>井栗公民館長にお聞きします。指定管理制度を受けられて1年を迎えたと思うのですが、指定管理制度になってどのように変わりましたか。満足度等をお聞きしたいと思います。</p>
井栗公民館長	<p>去年から井栗公民館の指定管理制度が始まって館長になったのですが、以前私は20年近く井栗公民館の運営審議会委員をしておりました。その頃から今までずっと続いている教室があり、それはまずいだろうということで問題になりまして、公民館の方でいったん仕切ることになりました。井栗わかふじコミュニティの皆さんの意見を聞くと、地域の公民館であるから、みんなで寄り合って意見を聞きながら、新しいのをやりたいということで、今までの講座は講座として、新しい入門講座を作る。その中で希望があれば、独立したサークルをやっていた方がいいということで、今は色々な講座を設けてやっています。その中から色々なグループができれば地域の活性化になるということで、今試行錯誤で色々な講座をやっているところでございます。地域の公民館ということであれば、同じ人だけが利用するのではなく、地域全体が活用するようにしていきたい。参加者が少ない場合、自ら出掛けて行って行事を周知しています。</p>
桑原委員	<p>住民の皆さんは喜んで参加しているのでしょうか。</p>
井栗公民館長	<p>喜んでいるかはわからないが、一言かければ来る、そういう風にはしています。</p>
桑原委員	<p>これからも頑張ってください。</p>
阿久津副議長	<p>次に、図書館、歴史民俗産業資料館、諸橋轍次記念館の順で説明をお願いいたします。</p>

高須館長	<p>ー以下、「平成26年度 三条市の生涯学習」p.44～54により説明ー</p> <p>＜図書館事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>重点目標（5）、おはなし会や講座の開催、ボランティアの養成と連携、職業実習生の受け入れ、展示ホールの貸出、読書会活動の支援、エクステンジ展示</p> <p>＜歴史民俗産業資料館事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>企画展・特別展</p>
羽賀館長	<p>＜諸橋轍次記念館事業 主に次の事業について説明＞</p> <p>博士の日特別講演会、コンサート、講演会：字～字～字、講演会：あなたも美文字家</p>
阿久津副議長	<p>ただいま、平成26年度の事業概要について説明していただきましたが、何か、ご質問はありませんか。</p>
倉品委員	<p>私も図書館をよく利用させてもらっていますが、指定管理になってからいい面が出てきたと思います。開館時間も延長になりましたし、明るい雰囲気、活用しやすい場になっているかなと思っています。来館者も増えていると聞いております。一つ、しかけ絵本についての関係を教えていただきたい。市民と協働でしかけ絵本日本一の図書館を目指していくことは素晴らしいことだと思いますが、図書館との関連を教えていただきたいと思います。また、昨今、県内では新しい図書館ができていますが、三条市ではそういう動きや発想はあるのでしょうか。</p>
長谷川課長	<p>子どもに小さい時から読書に関することでびっくりするような体験をさせたい。開くと立体的なものが出てくるようなもの。本の素晴らしさを体得していただいて、読書をする習慣ができれば、有意義なものになるのは皆さんもご存じだと思います。そういったことも踏まえて、子どもたちに本を読ませたい。日本全国にはそんなにたくさん、そういった図書館があるわけではありません。東京の笹塚に、子どもに特化した図書館がございます。ホームページを見ていただければわかるのですが、町中のマンションの二階を全部借り切って、子どもたちが楽しいと思うような図書館となっています。ただ施設をリニューアルするのではなくて、色々な発想で飾りつけをして、そういった子ども図書館を作っていく中で、子どもたちに特化して、子どもたちを特に大事にするような本を揃えられないか、ということで発想させていただいたものです。これは庁内ワーキングの中で職員からの提案でありまして、細かく検討していった事業に結び付けたいということで今年度から立ち上げました。この一年で日本一を目指すものではありませんので、そこはご理解いただきたいと思います。そういう意欲を持って、三条の子どもたちのために進んでいきたいと考えてお</p>

	ります。
倉品委員	<p>そのような意気は重々承知ですが、図書館との関わりはどのようなのでしょうか。実行委員会を立ち上げるということでありますけれども、市民のボランティアだけでなく、具体的には図書館職員の参加や関わりというのは、どのような形で見えてくるのでしょうか。</p>
高須図書館長	<p>しかけ絵本の実施館は、栄のすまいるランド内にある栄分館でございます。施設の対応は図書館でさせていただきます。それ以外の運営等は実行委員会の方に色々と支援をしていただきます。もちろん館の運営は我々にお任せいただきます。一緒になって進めさせていただきたいと思っておりますが、事業の推進は実行委員会がいたします。</p>
倉品委員	<p>わかりました。日本一はなかなか大変だと思いますが、ボランティアの方だけではなく、専門的な図書館の方も一緒に、総力で頑張っていたらと思っています。</p>
村田委員	<p>新しい図書館建設への動きは、少しでもあるのでしょうか。</p>
長谷川課長	<p>市民の財産であります図書館をどのようにリニューアルできるか。図書館だけでなく、市の施設をどうするかということは、長期的に検討していく必要があります。今現在、具体的にどうするか、例えば建て替えをするのかといった計画はございませんけれども、老朽化は進むわけですし、今後、全庁的な部分の中でどのような方向になるのかということ、市の財政状況を考えた中で検討されていくべきことと理解しております。</p>
阿久津副議長	<p>ありがとうございました。阿部議長が来られましたので、交代いたします。</p>
阿部議長	<p>これより議長をさせていただきます。次に「議題（２）社会教育団体等の補助金について」事務局の説明をお願いいたします。</p>
阿部係長	<p>－資料No.5により説明－</p>
阿部議長	<p>それでは質問をお受けいたします。</p>
桑原委員	<p>文化団体育成補助金を受けて育成する団体に差というのはあるのでしょうか。また、一事業・団体はいくらとか上限はあるのかどうか。去年までは民謡連盟と文化団体の補助金が出ていましたけれども、今年からジュニア合唱団の育成補助金が出ましたが、ただ申請すればもらえるものか、どこでどういう申請をするものか、わからないので聞かせていただきたい。</p>

長谷川課長	<p>三条市として、文化芸術に関する予算は長年増えてこなかった。なかなか予算がとれず、今後どういう方向で力を入れるかという中で、これまでは子どもたちに対する予算が少なかった。新年度については子どもに関わるような方向性でやっていきたいということで、今、教育委員会、スポーツ、文化芸術の中の一つの核を作る子どもたちにターゲットを絞り、何ができるかということで、色々お話させていただきました。その中でジュニア合唱団につきましては、県内の新潟・長岡・見附・三条それぞれでしっかりした組織があるわけですが、行政からの支援が三条では全くなかった。なかなか経営が難しいということ、また、中学校で合唱サークルがないということで、ますます先細りしていくのが困るということでした。これから若い世代に芸術とか文化とか音楽とかを担っていただかなければ先が続かないわけですので、そこへ力を注いでやるべきなのではないだろうかということを考えて、今回この予算を計上させていただいたわけでございます。</p>
桑原委員	<p>それはそれでわかりますけれども、一番星事業にも繋がるということになりますよね。子どもの事業の場合は。ジュニア合唱団は5万円もらったからいいとかそういうのではなくて、私がお聞きしたいのは、上限はあるのかということです。</p>
長谷川課長	<p>具体的に上限はいくらまでというものはありません。あくまでも団体の内容を見て、三条市の芸術への補助金予算の中で、議会に承認をいただきました。</p> <p>また、これと一番星事業とは違います。一番星というのは技能を伸ばす子どもに対して、団体に対して出すものであります。あくまでも実施要綱に合致したものに対しての助成でありますので、従前からある文化団体育成補助金とは事業趣旨が違うものであることから、区別をさせていただいているところでございます。</p>
阿部議長	<p>次に「議題（3）社会教育委員・公民館運営審議会委員の研修について」事務局の説明をお願いいたします。</p>
阿部係長	<p>－資料No.6により説明－</p>
阿部議長	<p>ご質問はありませんか。</p> <p>次に「議題（4）その他」平成26年度第53回中越地区社会教育研究集会【三条市開催】について、事務局の説明をお願いいたします。</p>
金子課長補佐	<p>この会議の説明につきまして、今回社会教育委員と公民館運営審議会ということで、公民館職員もおりますので、いったんここで閉めさせていただいて、社会教育委員、事務局及び中越教育事務所の方での話し合いとさせていただきたいと思います。</p>

阿部議長	<p>そうですね。公民館長さんはじめ、公民館の各事務局の方ありがとうございました。</p> <p><公民館職員退出></p>
金子課長補佐	<p>－その他資料No.1～7により説明－</p> <p><9月3日開催、平成26年度第53回中越地区社会教育研究集会【三条市開催】の内容・概要について了承></p>
阿部議長	<p>では、7月の会議の日程を決められるようでしたら決めたいと思います。7月中旬～下旬にかけてはいかがでしょうか。</p> <p><日程調整></p>
阿部議長	<p>次回は7月25日午後2時からさせていただきます。</p> <p>皆さん、その他ございませんでしょうか。</p> <p>それでは最後に、私から閉会の挨拶をいたします。</p> <p><阿部議長 挨拶></p>